

議会だより

No.27

2012.5.10



栃木県那珂川町

なかがわ

那珂川町の四季



主な内容

平成24年度一般会計予算を減額修正、議員報酬は5%減額（2P～4P）定例会

ここが聞きたい！ 一般質問（7名）（5P～11P）

各常任委員会報告、広報モニター意見（12P～13P）

議会のうごき・編集後記（14P）

●発行／栃木県那珂川町議会 ●編集／那珂川町議会広報特別委員会
〒324-0595 栃木県那須郡那珂川町小川2814-1 電話0287(96)2112
e-mail gikaigiji@town.tochigi-nakagawa.lg.jp

第2回 定例会

- ・平成24年度一般会計当初予算を減額修正
庁舎建設及び消防庁舎建設に関わる予算
1億7,597万2千円を減額
- ・5年連続で議員報酬の5%削減を決める

平成24年第2回那珂川町議会定例会は3月6日に開会し、会期を14日までの9日間と定め、一般質問及び議案等の審議を行いました。

今期定例会に付議された事件は、東日本大震災復興推進基金条例の制定や、課設置条例などの条例改正8件、一般会計ほか7会計の補正予算、平成24年度の一般会計当初予算など9会計予算の町長提出議案27件と、議員提案による議員報酬減額条例制定議案1件、陳情1件が審議されました。

なお一般質問は、7人の議員が行いました。

平成24年度予算総額（一般会計、特別会計、企業会計）127億6,040万円（前年比-0.9%）

会計名	本年度予算額	対前年度比率
一般会計	74億9402万8千円	6.3%減
特別会計	ケーブルテレビ事業	3億5,500万円 4.1%減
	国民健康保険	21億8,000万円 6.2%増
	後期高齢者医療	1億9,400万円 12.1%増
	介護保険	14億3,400万円 11.2%増
	下水道事業	3億2,900万円 2.5%増
	農業集落排水事業	4,700万円 2.2%増
	簡易水道事業	1億9,100万円 8.5%増
	計	47億3,000万円 6.8%増

水道事業予算	収入	支出
収益的収入及び支出	2億1,580万円	2億1,580万円
資本的収入及び支出	1億9,500万1千円	3億2,057万2千円

一般会計の歳入財源内訳、性質別歳出内訳

歳入内訳	歳出内訳
自主財源 (37.6%)	投資的経費 (5.1%)
依存財源 (62.4%)	消費的経費 (63.8%)
	その他の経費 (31.1%)

※一般会計予算の内訳については、12ページをご覧ください。

平成24年度予算

◆平成24年度那珂川町各会計予算の議決

平成24年度の各会計予算は、議員全員で構成される予算審査特別委員会（委員長 橋本 操議員、副委員長 長大市美議員）を設置し、4日間にわたり町部局からの説明を受け、各会計の予算を審査しました。

一般会計審査終了後、庁舎建設及び消防庁舎建設に関わる予算を減額する修正動議が出され賛成多数で可決されました。修正提案の理由としては、

- ・庁舎建設及び消防庁舎建設に対して町民の周知が十分に図られていない。
- ・「庁舎建設等検討委員会」に消防署員などの専門知識を持った関係者が入っていない。
- ・議会としての統一見解が検討委員会へ反映されていない。ことなどです。

議会最終日の本会議において、委員長から一般会計については、減額修正のうえ可決、各特別会計及び水

道事業会計は原案のとおり可決すべきとの審査報告がありました。

◎一般会計予算の減額修正予算に対する議決
（賛成多数 原案可決）
賛成9人、反対5人

◎一般会計予算の減額修正部分を除く予算の議決
（全員賛成 原案可決）

◎ケーブルテレビ事業特別会計予算
（全員賛成 原案可決）

◎国民健康保険特別会計予算
（賛成多数 原案可決）
賛成13人、反対1人

◎後期高齢者医療特別会計予算
（賛成多数 原案可決）
賛成13人、反対1人

◎介護保険特別会計予算
（賛成多数 原案可決）
賛成13人、反対1人

◎下水道事業特別会計予算
（全員賛成 原案可決）

◎農業集落排水事業特別会計予算
（全員賛成 原案可決）

◎簡易水道事業特別会計予算
（全員賛成 原案可決）

◎水道事業会計予算
（全員賛成 原案可決）

◎水道事業会計予算
（全員賛成 原案可決）

◎水道事業会計予算
（全員賛成 原案可決）

◎水道事業会計予算
（全員賛成 原案可決）

◎水道事業会計予算
（全員賛成 原案可決）

◎水道事業会計予算
（全員賛成 原案可決）

議員提案

◆那珂川町議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定

例の制定

(全員賛成 原案可決)

平成20年度から引き続き、平成24年度においても、議員報酬の減額を行うこととしました。減額の総額は約300万円となります。

条例

条例制定

◆那珂川町東日本大震災復興推進基金条例の制定

(全員賛成 原案可決)

東日本大震災からの復興事業に対応する資金として基金を設置しました。



「基金」て
なあに？

特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金又は財産のことをいいます。その目的によって、順次積み立てていくもの、定額を運用していくもの、預金利子等を運用していくものなどがあります。

条例改正

◆那珂川町課設置条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

ケーブルテレビ放送センターの業務を指定管理者に移管することに伴い、企画財政課の事務分掌を改正しました。

◆那珂川町ケーブルテレビ施設条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

放送法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条文中の法律名や文言を改正しました。また、一部有料チャンネルを廃止しました。

◆那珂川町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

消防団の組織再編やなす風土記の丘資料館の県への返還に伴うもの、その他非常勤特別職の職員間との均衡を図るために改正を行いました。

◆那珂川町職員給与に関する条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

国・県に準じ、職員の時間外勤務に係る給与額の算出方法について改正しました。

◆那珂川町税条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、改正しました。

補正予算

間外勤務に係る給与額の算出方法について改正しました。

◆那珂川町税条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

国・県に準じ、職員の時間外勤務に係る給与額の算出方法について改正しました。

◆那珂川町公民館条例等の一部改正

(全員賛成 原案可決)

国の法律改正により審議会等の委員の委嘱や任命に関する条項を追加しました。

◆那珂川町介護保険条例の一部改正

(賛成多数 原案可決)

第5期介護保険事業計画に基づき介護保険料を改正しました。

◆那珂川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

消防団の組織再編等に伴い消防団員の定数を509人にしました。

◆平成23年度一般会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

国の関連事業として、学校施設環境改善交付金や東日本大震災復興推進交付金を計上したほか、年度末を迎え各種事務事業費が確定したこと、歳入歳出等の最終的な調整を行い、6億8103万2千円の予算を減額しました。

◆平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算

(賛成多数 原案可決)

後期高齢者医療広域連合への納付金など、総額100万円の予算を減額しました。

◆平成23年度介護保険特別会計補正予算

(賛成多数 原案可決)

保険給付費や制度改正に伴うシステム改修に係る費用等、総額5100万円の予算を増額しました。

◆平成23年度下水道事業特別会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

施設管理費、整備事業費を精査し、総額500万円の予算を減額しました。

◆平成23年度国民健康保険特別会計補正予算

(賛成多数 原案可決)

事業費の精査により、保険給付費、後期高齢者支援金等及び療養給付費等償還金を調整し、総額3000万円の予算を減額しました。

◆平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

事業費の精査により、維持管理費、配水管敷設工事費など、総額400万円の予算を減額しました。

◆平成23年度水道事業会計
補正予算

(全員賛成 原案可決)
事業費の確定によるものほか、特別損失など6000万円を減額しました。

◆指定管理者の指定

(全員賛成 原案可決)
まほろばの湯湯親館等の管理を行っている株式会社まほろばおがわとの、指定期間が切れるため改めて指定しました。

陳情等

◆「新那珂橋の廃止に伴う
新橋の整備促進に関する
陳情書」

陳情者

小口行政区長

藤田 敏 氏

北向田行政区長

磯野 均 氏

小砂行政区長

藤田 清 氏

小川第4行政区長

小泉 千幸 氏

小川第5行政区長

松本嘉一郎 氏

審査経過

産業建設常任委員会に審

査を付託

委員会では、3月9日に

陳情内容について担当者から意見聴取し、慎重に審査を行いました。

審査結果「採択」

(全員賛成 原案可決)

意見書

(全員賛成 原案可決)

陳情書の採択に伴い、「新那珂橋の廃止に伴う新橋の整備促進を求める意見書」を県の関係機関に提出することを決定しました。

採決で賛否がわかれた議案(30議案中7議案)を掲載しています。

議案名	平成24年度一般会計予算の減額修正予算に対する議決	平成24年度後期高齢者医療特別会計予算	平成24年度介護保険特別会計予算	那珂川町介護保険条例の一部改正	平成23年度国民健康保険特別会計補正予算	平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算	平成23年度介護保険特別会計補正予算
佐藤信親議員	○	○	○	○	○	○	○
益子輝夫議員	○	●	●	●	●	●	●
塚田秀知議員	○	○	○	○	○	○	○
鈴木雅仁議員	○	○	○	○	○	○	○
益子明美議員	○	○	○	○	●	○	○
大金市美議員	●	○	○	○	○	○	○
岩村文郎議員	●	○	○	○	○	○	○
小林 盛議員	○	○	○	○	○	○	○
福島泰夫議員	●	○	○	○	○	○	○
阿久津武之議員	●	○	○	○	○	○	○
橋本 操議員	○	○	○	○	○	○	○
鈴木和江議員	○	○	○	○	○	○	○
石田彬良議員	●	○	○	○	○	○	○
小川洋一議員	○	○	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対 ※川上要一議長は採決に加わりません。

一般質問 ここが聞きたい!

紙面の内容は、質問・答弁とも質問者自らが要約、執筆したものを掲載しています。

第2回町議会定例会では、7議員が一般質問を行いました。

- 石田彬良 議員
 - ①危機管理と放射能対策について
 - ②入札結果の開示と地元業者の入札参加について
 - ③ I P 電話の加入者増と電話帳の作成について
- 益子明美 議員
 - ①定住自立圏構想について
 - ②子どもたちへの放射能対策について
 - ③那珂川町地域振興計画策定委員会について
- 益子輝夫 議員
 - ①町長の施政方針について
- 塚田秀知 議員
 - ①職員の提案活動はどのような状況か
 - ②広重美術館運営について
- 佐藤信親 議員
 - ①子育て支援及び若者定住対策について
 - ②資材提供事業について
 - ③駒形大塚地区交換分合の現状について
- 小林 盛 議員
 - ①北沢の不法投棄物は何が危険なのか
 - ②町道の改良工事について
- 橋本 操 議員
 - ①町有施設の管理について
 - ②子どもの放射能対策について

危機管理と放射能対策について

答 地域防災計画の中へ放射能対策も盛り込む考えである



石田彬良議員

がれたようである。これからは、原子力の災害の知識を行政と住民が共有すべきと思うがどうか。

④放射能による教育現場や農産物等への影響は。

答弁 ①公共施設の被害額は22件、被害総額は約9864万円。その他

普通財産の被害件数は6件、被害額は346万円である。消防車庫7件で705万円。防火貯水槽2件で約54万円、農地や農業用施設40件で1億800万円。町道は4路線で約986万円、

その他舗装被害が45か所、926万円である。民間の被災家屋は3236件である。10万円を限度とした町の支援金は1170件の申請があり、2月末で611件5870万円を交付している。

那珂川町に寄せられた義援金は日本赤十字社、中央

共同募金会、NHK厚生文化事業団を通じて寄せられた義援金、とちまる基金など合計5899万円であり、これらは住家が全壊または半壊世帯に配分した。

際親善都市の盟約を、秋田県美郷町とは旧小川町のまほろば太鼓など郷土芸能交流を中心とした相互交流を進めている。

また、この度東京都豊島区との間で観光交流都市協定を締結することになっている中で、防災に関する協定についても協議していきたいと考えている。

③平成24年度に町民向けの防災ハンドブックの作成を予定している。町民の放射能に対する知識の共有など、原子力災害に関する内容を盛り込んでいく。

④各幼稚園、小中学校での測定結果はいずれも基準値より低い値である。那珂川町で生産されるイチゴ、トマト、ナス、ネギなどの野菜、米、麦、大豆などの果樹から放射性セシウム、放射性ヨウ素は検出されていない。また茶葉、原木シイタケについては検出されたが暫定基準値以下であった。4月から新たな基準値が適用されるので被害が少しでも出ないよう適切に対処していく。

②平成23年度は、大地震や台風など災害の多い年であり入札の件数も多かったと思う。そこで何う。

①年間の入札状況の件数とその総額は。

②那須烏山市では、毎月発行の広報誌に入札結果を掲載し、好評だと聞いているが当町では出来ないか。

答弁 ①平成23年度の建設工事では、一般競争入札19件、指名競争入札125件、落札金額は9億1093万円である。次に業務委託は指名競争入札26件で9615万円7千円である。次に物品購入及び役務の関係では7件612万2800円である。前年度より2倍の金額と入札を行った。

②一般競争入札は、町ホームページで公表している。指名競争入札の結果は総務課において閲覧方式で公表している。広報なかかわへ掲載については紙面の確保等の問題もあり検討していく。

①大震災による町内の公共施設、民間の家屋、構造物、山林、農地などの被害の件数と災害復旧費支援金等の額はそれぞれのくらか。

②友好市町との防災に関する協定は、どこどのような内容で締結しているか。

③隣接する茨城県に東海第二原発があるが、今回の大津波では危機一髪で難をの



復元された矢又押野地区崩落現場

②昭和56年から滋賀県愛荘町と姉妹都市の盟約を締結して災害時に、お互いに助け合うことと災害時の相互応援協定を締結している。昨年4月には愛荘町長と関係者が来町し、支援物資を提供して頂き感謝しているところである。アメリカ合衆国ホースヘッズ村とは国

際親善都市の盟約を、秋田県美郷町とは旧小川町のまほろば太鼓など郷土芸能交流を中心とした相互交流を進めている。

また、この度東京都豊島区との間で観光交流都市協定を締結することになっている中で、防災に関する協定についても協議していきたいと考えている。

③平成24年度に町民向けの防災ハンドブックの作成を予定している。町民の放射能に対する知識の共有など、原子力災害に関する内容を盛り込んでいく。

④各幼稚園、小中学校での測定結果はいずれも基準値より低い値である。那珂川町で生産されるイチゴ、トマト、ナス、ネギなどの野菜、米、麦、大豆などの果樹から放射性セシウム、放射性ヨウ素は検出されていない。また茶葉、原木シイタケについては検出されたが暫定基準値以下であった。4月から新たな基準値が適用されるので被害が少しでも出ないよう適切に対処していく。

②平成23年度は、大地震や台風など災害の多い年であり入札の件数も多かったと思う。そこで何う。

①年間の入札状況の件数とその総額は。

②那須烏山市では、毎月発行の広報誌に入札結果を掲載し、好評だと聞いているが当町では出来ないか。

答弁 ①平成23年度の建設工事では、一般競争入札19件、指名競争入札125件、落札金額は9億1093万円である。次に業務委託は指名競争入札26件で9615万円7千円である。次に物品購入及び役務の関係では7件612万2800円である。前年度より2倍の金額と入札を行った。

②一般競争入札は、町ホームページで公表している。指名競争入札の結果は総務課において閲覧方式で公表している。広報なかかわへ掲載については紙面の確保等の問題もあり検討していく。

平成23年度の入札状況と町民への公開は

質問 平成23年度は、大地震や台風など災害の多い年であり入札の件数も多かったと思う。そこで何う。

①年間の入札状況の件数とその総額は。

②那須烏山市では、毎月発行の広報誌に入札結果を掲載し、好評だと聞いているが当町では出来ないか。

答弁 ①平成23年度の建設工事では、一般競争入札19件、指名競争入札125件、落札金額は9億1093万円である。次に業務委託は指名競争入札26件で9615万円7千円である。次に物品購入及び役務の関係では7件612万2800円である。前年度より2倍の金額と入札を行った。

②一般競争入札は、町ホームページで公表している。指名競争入札の結果は総務課において閲覧方式で公表している。広報なかかわへ掲載については紙面の確保等の問題もあり検討していく。

人口減少歯止めとなる、定住自立圏協定を

答 地域の活性化に結びつく施策の創出に努力する



益子明美議員

質問 定住自立圏構想について伺う。

①八溝山周辺地域定住自立圏構想研究会が設置されたが、ここに参加を決定した理由は。

②那珂川町の課題はどのような分野で、対策として実現したいことは何か。

③医療問題の課題として、休日夜間急患センターの設置を望む声があるが、研究会の中で取り上げる考えはあるか。また、廃棄物処理の広域化も課題として想定されているが、将来的に那珂川町として一般廃棄物の処理をどのように考えているのか。

答弁 ①定住自立圏は、人口5万人程度以上の中心市

と経済・社会・文化等において密接な関係を有する周辺市町村で圏域を構成するもので、大田原市より研究会の話をいただいた。那珂川町でも人口減少の中で圏域での協力、体制強化により町民の福祉向上と定住促進のための生活機能の確保等につながると思え、研究会に参画した。

②医療や一般廃棄物の処理の問題、地域公共交通の問題、ネットワーク化や道路網の整備、観光における連携等が考えられる。

③政策分科会の中で研究していくが、南那須広域との連携を最優先に考えその上で医療・一般廃棄物処理の問題も話し合いを持ちたいと考える。

子どもたちへの放射能対策を万全にすべき

質問 子どもたちが生活

する環境、食物からの被曝をできるだけ避けなければならぬ。町の対策を伺う。

①現在、那珂川町の保育園、幼稚園、小中学校ではどのような対策がとられているか。

②学校給食の安全性を確保することは、行政の重要な役割である。どのような対策がとられているか。

③積算線量計（ガラスバッジ）を購入し、数値を公表している自治体が増えている。那珂川町でも、子どもたちの環境がどのような状態におかれているかを知るために、導入すべきではないか。

答弁 ①現在まで県及び町で放射線の測定を行ってきた。今年1月に馬頭・小川ロータリークラブより県の放射線測定器と同等の測定器が寄贈されたのを機に各学校輪番で定期的に測定を行い、ホームページ等で公表していく考えである。

②学校給食会からの食材は県の検査で、また地元農産物については農業振興事務所

の指導に基づき検査をし、現在までの測定では、放射線は検出せずとの結果になっている。

町としては、新年度に給食用食材の放射能測定器を導入する予定で、さらに保護者の不安解消に努める。



③安全イコール安心ではないので放射能対策については、慎重に対応したいと考える。現在よりも高い数値が測定されるような場合は、積算線量計の導入も検討する。

補助金を頼りにしない 那珂川町地域振興策を

質問 ①那珂川町地域振

興計画の中で、支援制度の活用とあるが、支援制度とは具体的に何のことか。

②計画の概要に「政策として信頼を構築する」とあるが、具体的に誰と誰の信頼関係を言っているのか。地区計画や区域指定はどこになるのか。

③委員会メンバーの行政区代表者はなぜ、小口・小砂・和見地区だけで、他の行政区長は選出されていないのか。

答弁 ①当町に有利な補助事業や起債事業などを合わせ、県と締結した馬頭処分場に関する基本協定に基づく県の支援、さらに東日本大震災復興交付金制度の活用を検討している。

②地域振興の話し合いを通じて共通理解を深めながら地区計画を推進する。地区計画や区域指定は協議中である。

③20人の委員のうち、町が地域振興の提案を行った3行政区長に委員になっていただき、協議を行っている。

町長2年の施政をただす

答 原子力災害対策も含め地域防災計画を見直す



益子輝夫議員

替えが予定されているが、それによって町民への持続的な事業や行政サービスはどうなるのか。

②生活と環境―原発を含めた防災計画はできたか。

質問 今不景気な経済情勢の中、消費税の増税やT P P問題などでさらに厳しい状況になってくると思うが、町民のみなさんは介護保険料や健康保険料の値上げなど毎日の生活に支障をきたす状況にある。

町長は、震災や福島原発事故の影響もまだ残っている中、苦労されているのではないかと思うが、そういう中で、工場誘致や雇用問題など良く頑張ってきたと大いに評価したいと思う。

4月から消防団が再編されるが、原発問題も含め新しい防災計画を作成したのか。地域の問題解決に向けた地域と行政機関等の連携による新たな地域社会づくりなどを考えていく必要があると思うが防災との関連ではどうなのか。

③健康・福祉・医療―高齢化・少子化に対する対応は。全国的にも厳しくなってきたているが、町の高齢化・少子化社会に対する社会保険関連サービスのあり方は。

①行財政改革―町民サービスはどうなるのか。
本庁舎や消防庁舎の建て

④地域経済の活性化―地場産業の維持、育成策は。
地場産業や農業を含めた地域経済の活性化を何としても進めなければならな

い。そうしなければ税収が落ちるのは目に見えてくる。地場産業や農業の維持・活性化をどう考えているのか。

⑤教育・文化―教育、学習環境の整備は。

これから、学習環境の整備についてどういう考えをもっていくのか。

答弁 ①行財政改革と安

全安心な町づくりを進めるうえで、課題になっているのが東日本大震災による被災した庁舎及び広域消防の再編に伴う消防庁舎の建設であると考えているが、町民への持続可能な事業やサービスについては、質の低下を招かないよう配慮しながらサービスの提供に努めていく考えである。

②原発を含めた防災計画は、現在、栃木県が地域防災計画の見直しを進めており、今年9月ごろ策定される予定である。町は、これに合わせて24年度中に町地域防災計画の見直しを行い、原子力災害対策も盛り込む予定である。

③高齢者福祉については、

計画に基づき介護施設の整備を図り諸施策を推進してきた。24年度は要援護者マップをもとに地域住民等のネットワーク、地域見守りネットワーク事業の立ち上げを計画している。

少子化の社会保障サービスは、妊産婦医療費や不妊治療助成事業のほかそれぞれの時期に適した子育て支援を実施できるよう努めていく考えである。



町内に進出した企業 (大平工業団地)

④町は総合振興計画で、観光と連携して商工業や農林水産業の振興をはかっているところである。また、町への企業立地の促進と産業振興、新たな雇用機会の創出をはかっている。現在、大平工業団地に(株)桜乳業、加ト吉工場跡に(株)タヤマ、旧馬頭東中学校跡に県北木材協同組合が進出している。

⑤次世代を担う子どもたちの教育、学習環境を整備することは、当町の子育て支援の重要な課題の一つとしてとらえている。

学校施設の耐震化や大規模改修に取り組み、安全な教育環境の整備に努めている。また、適正規模での学習環境を整備するため町内小・中学校の統合を進めてきた。今後、小川地区3小学校の統廃合や電子黒板など学校I T Cの推進、教員の一層の資質の向上などにより、児童生徒の学力向上に努めていく。

職員の提案活動は現在どのような状況か

答 提案制度を活用した提案は出ていない



塚田秀知議員

質問 数年前、川上議長が改善提案について質問されたことを記憶しているが、改善提案の重要性は企業に勤めていた方は誰でもよく認識していることと思う。大金町長も以前大企業に勤めていた経験があると聞いているので、職員に対し、活発な提案活動をするよう指導されていると認識している。また、平成18年、那珂川町行財政改革推進計画の概要が制定された中に、年間一人1提案以上の実践と記載されている。

そこで次の4項目について伺う。

①平成18年度から22年度までの年間提案件数は年度別にどのくらいあったのか。

②提案された中で費用対効果はどのくらいか。
③ソフト面で住民サービスにつながるような提案件数はどのくらいあったのか。
④職員に対する提案啓蒙活動はどの課が担当しているのか。

答弁 ①平成18年度から平成22年度までの提案は1件であるがこの事案は職員個人の人事面での要望であったので、人事異動の参考扱いとした。

②費用対効果については検証していない。しかし、事務事業の効率的な執行の提案改善等は課や係を超え全庁にわたり日常的に行っている。
③住民サービスにつながるものでは職員の発案により所得税の確定申告の休日受け付けを期間中2回実施している。また、夏の暑さ対策として、緑のカーテンを取り入れ、苗は職員互助会

が提供した。これらはあくまで日常業務内の発案で提案制度の活用がない状況なので、今後は出しやすい提案制度の実践に取り組んでいきたい。
④提案制度の啓蒙については、総務課が所管しており、全職員を対象にこの制度の説明会をしているが、制度が活用されないのも事実である。今後職員提案制度の活用を推進し、職員の意識向上、職務意欲の喚起に努めていきたい。

馬頭広重美術館の運営について

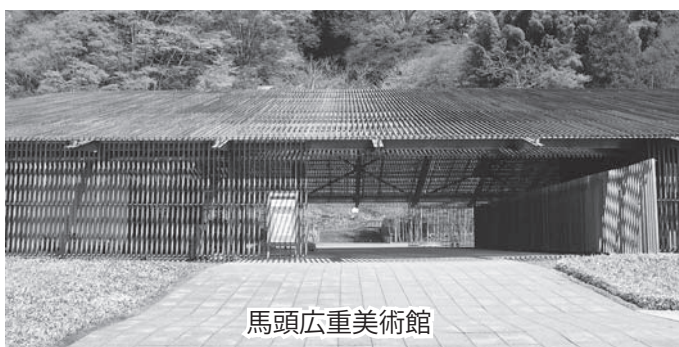
質問 平成12年11月開館以来、馬頭広重美術館も12年と半年が経過し、昨年6月15日に入館者が50万人に達成したことは、大変喜ばしいことである。那珂川町に広重美術館があるということが、広く県内外にも知られ渡り、それなりの経済効果をもたらしたことは、紛れもない事実であり、これもまた喜ばしいことである。私は、芸術、文化を否

定する訳ではないが、現下の厳しい情勢のなか、現状のままの運営で良いものなのか。次の3項目について伺う。

①年々入館者が減っているが、今後どのような増員計画を考えているか。
②美術館の屋根の傷みが進んでいるようだが、修繕計画はあるのか。
③町内外を問わず70歳以上の高齢者を入場無料とした背景は。

答弁 ①増員の方策については、平成13年の9万1千人をピークに年々減少し、ここ数年は3万人前後で推移している。PR活動が重要であり、商工観光課と連携し町内外の公共施設、駅窓口等へのポスターやチラシの配布、さらに旅行雑誌や旅行者業者へのPRを強化している。一方町民の来館を増やすため町民に親しまれる美術館を目指している。身近な生活文化を展示し、入館者を増やし、地域への波及効果が図れる魅力ある企画に努めていきたい。

②屋根の修繕計画だが、屋根のルーバーに使用している杉の木材は、防腐処理を施してあっても永久に持つものではなく、今後修繕のあり方を含め状況を見ながら検討していく。
③70歳以上の高齢者を無料にした背景については、当町では福祉のまちづくりを掲げており、高齢者福祉の充実を目的として無料とした。今後高齢者の有料化については、広重美術館協議会の意見を聞いた上で検討していく。



馬頭広重美術館

子育て支援及び若者定住対策について

答 若者定住のため、企業誘致を積極的に推進する



佐藤信親議員

る考えはあるか。

答 ①出生率が減少する中30年、40年後には人口1万人規模になることが推定されていることから、24年度より子育て支援係を新

たに設置し、今まで以上の支援を図る。また、若者の定住を促進するためには、働く場所の確保と雇用の創出も大変重要であり人口流出に歯止めをかけるためにも、企業誘致を今後とも積極的に推進したい。

②多様化する若者のライフスタイルに応じた住環境整備などと併せて、若者の定

住意識に関するアンケート調査等も実施し検討したい。

③若者定住対策を兼ねた子育て支援住宅の建設については、民間事業者との兼ね合いもあるが、町の活性化につながる事項であるので今後調査研究を行い検討したい。

資材提供事業について

質問 協働のまちづくり

については、町総合振興計画前期後期計画に重点事業として各種方面でその効果が出ているが、地域や集落内での住環境に関する要望は様々な事項があると思うが、地域住民で実施可能な事項については、資材を提供し労役は住民が負うという資材提供事業の創設や那珂川町提案型補助事業の事業項目の見直し等により実施できないか伺う。

答 現在のところ

資材提供の要望はないが、隣接市町において、町民との協働による道普請の支援制度を創設し、取り組みを行っている自治体もあるので、調査研究したい。また、提案型補助制度の関係についても検討したい。

駒形大塚古墳周辺の公有地化事業について

質問 国指定史跡である

駒形大塚古墳周辺地区の公有地化事業について、現在の状況及び今後の方策について伺う。

答 町の公有地化区域

内での交換分合の対象地については、登記も完了し取得済みであるが、町の公有地化計画にも関連性があるため、未了である未登記の交換分合についても出来る限りの支援を行いたい。



若者の定住対策には住宅が必要 (南町住宅)



駒形大塚古墳

質問 子育て支援及び若者定住対策については、様々な対策及び施策が講じられているが、依然として少子化の傾向に歯止めをかけることが出来ない現状にあり施策の見直しも含め今後の対応等について伺う。

①町総合振興計画後期計画に様々な子育て支援施策が掲げられているが、若者定住対策が講じられていない、今後の対応についてはどうか。

②若者が結婚後町外に転居する傾向にあるが、その原因について検討したことがあるか。

③低家賃で子育てに適した間取りを取り入れた若者専用子育て支援住宅を建設す

処分場は、必要のないのではないか。

答 このまま放置しておくことが一番危険である



小林 盛議員

考えているのか。

③北沢の不法投棄は、行政側から危険だ、危険だと言われ続けたにも拘わらず、この問題を解決できないで22年間も経過してしまった訳だが、何の問題も一度も起こらなかった。産廃処分場を受け入れてまで解決を図る必然性がないのではないか。

答弁 ①北沢の不法投棄の危険性について、

平成12年の詳細調査でダイオキシン、鉛、揮発性有機化合物が検出された。現在までモニタリングを実施しているなかで汚染拡大の兆候は認められていないが、違法に不法投棄された廃棄物であり、将来自然災害等による不慮の事態を想定すると、このまま放置しておくことが、一番危険であると考えている。

①処分場を受け入れてまで解決しなければならぬ北沢のゴミとは、一体何が危険なのか。

②処分場で解決を図るメリット、デメリットをどう



北沢の不法投棄現場

②費用対効果については、地域住民の安全を守ることが一番の責務であると考えているので、費用対効果で判断すべきではないと考えている。

③22年間もの長期間解決できないのは、必要性がないからではないかとのことだが、必要性がないからではなく必要な手続き等に時間がかかっていると聞いている。引き続き早期解決に向けて取り組んでいく。

町道の改良工事について

ついて

質問 県道那須黒羽茂木線の和見桜馬場から岩下を通って、給食センターの前から国道293号の都へ抜ける町道について伺う。

県道側出入口付近に給食センターや、ひばり幼稚園があり馬頭市街地とを結ぶ近道ということもあって、

車の通行量が非常に多い。国道293号側は交差点が近く、車の渋滞の間を縫うようにして、町道へ出入りをするという危険な状況である。平成20年にも同様の質問をし、その時は別な改良工事と一緒にやるという答弁だった記



交差点付近は交通量が多く危険。(都地内)

憶があるが、全く進んでいない。早急に検討していただきたい。

答弁 都橋付近は町道が何路線も重なっており、現在、国道293号、馬頭バイパスが計画されている。県も危険な交差点と認識しており、交通管理者と協議して、安心な交差点を作ることを、現在計画中である。

子どもたちの甲状腺被曝検査は

答 放射線量が基準以下なので検査の実施予定はない



橋本 操議員

質問 福島第一原発が水素爆発を起こし、放出中の放射性物質が人体に悪影響を与えていると思われるが、町は町民の健康をどのように考えているか何う。
①中学生までの子どもを対象にした甲状腺被曝検査を実施する考えはあるか。
②保育園、幼稚園、小学校のグラウンドや建物周辺の放射性物質の検査は、どのように行っているのか。安全性はどうか。
③通園、通学路等で放射性物質が蓄積していると思われる箇所を調査したのか、今後する予定はあるのか。

単独での検査を実施する予定はない。甲状腺に変化が見られた場合には、県教育委員会や学校医等と相談し対応する。

②校庭や排水溝、落ち葉など5箇所から8箇所ぐらい放射線量の調査を行っている。基準値を下回っており安全と考えている。保育園の園庭は毎日、2回測定しており、国の基準値以内である。

③当町は、汚染状況重点調



園庭での放射能物質の検査
(馬頭中央保育園)

査地域に指定されていない。また、学校内の放射線量検査でも基準値を下回っているので通学路での測定は行っていない。今後も予定していない。

町有施設の管理について

質問 町民プールの更衣室に不法侵入した男が逮捕されたが、男は3箇月にわたり寝泊りをし、室内で火力を使用し、食事もとっていたことが新聞等で報道され、皆さんの管理に安全安心のまちづくりに不安と失望が残った。町は議会に対し何ら説明もなかった。そこで何う。
①更衣室の出入口の施錠はどのようになつていたのか。今後の重点対策は。
②プールや水道水源地への不法侵入や、有害物質の投入阻止の現況と今後の重点対策は。
③町有施設全体の管理体制の見直しと、防犯カメラの設置を考えるべきと思うがどうか。

答弁 ①プールへの出入口は正面の1箇所であり、開場期間終了後は、保守点検など点検時に職員と委託業者が施錠を確認した。その際、内部出入口の更衣室、窓の施錠までは確認していない。犯人は、プール周囲のフェンスを乗り越え侵入したと考えられ、事件後は、定期的に巡回し外部及び内部の施錠を確認している。

②プールは、周囲を約2メートルのフェンスで囲まれており、使用期間中は職員による施錠の確認と、毎日1回開場前に遊泳プールの衛生基準に従った水質検査を実施している。今後、不法侵入防止対策として巡視に加え看板等を設置し注意を喚起し、さらなる防犯対策を行っている。水道水源地等への不法侵入や有害物質の投入阻止については、すべてネットフェンスを配置し、井戸の鉄蓋は施錠する対策を行っている。県北地区で発覚した青酸カリ紛失に当たっては、全施設を点検している。

③事件発生以来、改めて施錠の再確認や施設の巡回をしている。防犯カメラは、個人情報やプライバシー保護に課題がある。費用対効果を踏まえ検討する。



町民プール

所管事務調査報告
産業建設常任委員会

委員長 阿久津武之
県北木材協同組合の
施設整備状況

(調査日 2月13日)

旧馬頭東中学校跡地において、4月から県北木材協同組合那珂川工場が操業を開始することから、施設の整備状況について調査しました。

敷地内には、約500平方メートルの建物が3棟建てられ、製材設備として、選木機、製材搬送ライン、製品選別ラインなどが、既に配置されています。

平成24年度以降、第2期工事として、乾燥施設や仕上げ加工機など2次加工施設の整備を予定しているということです。

将来的には、製材した時に出る廃材を利用したバイオマス発電の建設も計画しており、発電に伴う熱を利用して、農作物の温室栽培やウナギの養殖、また、校舎の空き教室で、きのこ類



県北木材協同組合を調査する委員 (旧馬頭東中学校跡地)

の栽培なども検討中のことでした。
町の林野面積は約64パーセントを占めています。この森林資源の有効活用を図ることで、林業の振興を含め、地域の活性化にもつながると考えられます。
また、雇用の面においても、当初は12〜13人を採用する予定ですが、将来的には20〜30人が見込まれ、地元雇用創出にも期待できるものと思っております。

平成24年度一般会計歳入歳出の内訳 (総額74億9,402万円)

歳入	自主財源 (37.6%)			依存財源 (62.4%)			
	町税 18億3501万円 (24.5%)	繰入金 4億7620万円 (6.4%)		地方交付税 30億円 (40.0%)	町債 4億8100万円 (6.4%)		
	分担金及び負担金 1億4265万円(1.9%)	使用料及び手数料 1億1825万円(1.6%)	その他の自主財源 2億4606万円(3.2%)	県支出金 4億2494万円(5.7%)	国庫支出金 3億6840万円(4.9%)	その他の依存財源 4億151万円(5.4%)	
歳出	民生費 19億3498万円 (25.8%)	公債費 10億4868万円 (14.0%)	総務費 9億8948万円 (13.2%)	教育費 9億3071万円 (12.4%)	衛生費 6億7145万円 (9.0%)	土木費 6億4258万円 (8.6%)	消防費 5億4783万円 (7.3%)
					農林水産業費 3億1208万円(4.2%)	その他 4億1623万円(5.5%)	

一般会計の町民1人当たりの目的別予算額 (前年度との比較) (単位:円)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
5,690 (6,307)	52,545 (52,212)	102,755 (105,590)	35,657 (35,051)	16,573 (29,135)	16,148 (15,585)
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	予備費
34,124 (29,148)	29,092 (37,572)	49,424 (51,369)	1 (1)	55,689 (56,618)	266 (262)
合計					
					397,964 (418,850)

※上段が平成24年度・下段が平成23年度

所管事務調査報告
教育民生常任委員会

委員長 大金 市美

「えにし苑」など

3施設を調査

(調査日 3月21日)

今回の調査は、町指定地域密着型サービス及び介護予防サービス施設である小規模多目的ホーム「えにし苑」と特別養護老人ホーム「かたくりの郷」の増床計画の進捗状況及び設備面等の調査を、また、「大山田ノンフェール くらねえ」の運営状況について調査対象として実施いたしました。

小規模多目的ホーム

「えにし苑」については、宿泊者9人、通所者15人の受け入れ態勢が整備され今春オープン。また、「かたくりの郷」は、昨年の震災の影響で整備計画が大幅にずれ込みましたが、老人ホーム20人、ショートステイ10人、デイサービスは最大30人の受け入れることができ、来春オープンが予定され、高齢化が進むなか、

町内入居待機者の解消と福祉の向上に向け、地域に密着した施設としての役割を果たしていくものと期待される。

「大山田ノンフェール くらねえ」については、様々な事を抱える人たちの居場所の提供や相談を受ける等国県町の指導の下に開設されている施設であり、個人情報保護等により、広く活動内容について公に出来ない事情があるが、ステンドグラス教室、はた織りなどの創造の場所としても開放しているのが現状であるが、更に地域と密着したものとすることが望まれる。



「えにし苑」の調査 (旧谷川小学校跡地)

広報モニターさんのご意見・感想が、このように活かされています。 No.2

項目	広報モニターさんからのご意見・感想	改善したところ
一般質問について	・一般質問の答弁の内容をもう少し要約すると読みやすい。	・一般質問は一議員1ページという考え方で、議員自らが要約・執筆したものです。写真についても一枚程度は掲載することにしました。
	・一般質問「ここが聞きたい」は一目でわかるので良い。	・一般質問の項目については、「ここが聞きたい」としてまとめて掲載し、質問の内容がわかるようにしています。
文章について	・文章の長さなど読みやすく工夫されていて大変良い。	・簡潔明瞭に表現するよう、努力しています。 ・文章はなるべく短くして、理解しやすいようにしています。
色の使い方について	・紫色は読みにくい感がある。(特に囲み記事) ・中のページの色使いは暖かい色の方が良い。	・表紙と最終ページはカラー印刷にし、発行月(年4回)ごとに色を変え、変化にとんだ見やすい色使いに心がけています。
その他意見	・議案の承認や議決についての(賛成多数原案可決)の書き方は、賛成、反対の人数を入れた方が良い。議案に対しての議員の動向が、より分かりやすい。 ・執行部案について、賛成者、反対者の氏名も載せて欲しい。	・前号までは、議案に対する賛成者と反対者の人数を掲載していましたが、今回から採決で賛否のわかれたものについて表にまとめました。
	・難しい言葉が出てくるので、中学生でもわかる説明コーナーがあると良い。 ・外来語を使用するときは、説明を付けて欲しい。	・行政用語、議会用語などは出来るだけ使わないようにして、中学生でも理解できるよう簡単なことばで表現をするよう心がけています。また、分かりにくい用語については、なかちゃんのワンポイントアドバイスで解説するようにしています。
	・議会の動き欄で、今後の予定も示した方が良い。	・議会の動きについては、議会だよりが3か月に一回の発行であることや直前にならないと決まらない会議や行事等が多いため、今後の予定についての掲載は難しいです。掲載するとすれば定例会の開催予定程度になります。
	・全国広報研修会という研修機会があることを知り、広報委員の努力が伺えた。更なる向上を期待する。	・議会広報特別委員会委員全員が全国町村議会広報研修会に参加し、他の町村議会が発行している広報紙に対する専門家の意見などを参考に、議会だよりの内容充実に取り組んでいます。

議会会議録の閲覧

議会の会議録は、議会事務局及び町図書館で閲覧できます。

ホームページ

町ホームページに議会の日程や会議の結果、会議録を掲載しています。是非ご覧ください。

URL <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp>

読みやすい「議会だより」の発行にむけて

議会広報特別委員会では、町民の皆様が読みやすい・わかりやすい「議会だより」の編集に心がけています。

より良い議会だよりをお届けしていくため、ご意見・ご感想をお伺いします。

ご協力をお願いします。



※本文の中で「なかちゃん」が用語解説をしています。

人事異動

4月1日付けの人事異動により議会事務局が次のとおりとなりました。

事務局長	増子 定徳
局長補佐	板橋 了寿
係長	岩村 照恵
併任書記	藤田 善久
併任書記	猪股 倫子

●表紙写真

表紙は、薄井昭二さん（小川）の撮影写真です。

題名 「親子枝垂桜」
撮影場所 吉田観音寺

議会のうごき

平成24年2月

- 13日 産業建設常任委員会所管事務調査
- 21日 県町村議会議長会議
- 22日 南那須地区広域行政議会定例会
- 23日 議会全員協議会
- 27日 議会運営委員会

3月

- 6日～14日 平成24年第2回議会定例会
- 13日 産業建設常任委員会
- 21日 教育民生常任委員会所管事務調査
- 23日 議員全員会議

4月

- 12日 議会広報特別委員会
- 18日 議員全員会議
- 25日 議会広報特別委員会
- 27日 議員全員会議

5月

- 2日 議会運営委員会
- 7日 平成24年第3回議会臨時会

議会だより 表紙写真募集



議会だよりの「表紙写真」を募集します。

テーマ 「ひと」
・町内で働く人、趣味に生きる人、遊ぶ子どもなど
規格 カラープリント
応募上の注意

・応募者は町民に限ります。
・応募の際は、住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所を明記して下さい。
その他
次号は8月発行です。
採用者には粗品を進呈します。

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも一度傍聴してみませんか。

次の定例議会は、6月5日開会（平成24年第4回那珂川町議会定例会）の予定です。
議場は、小川庁舎3階です。

ケーブルテレビ（11ch）で議会が生中継されます。

編集後記

▽那珂川町議会では初めて予算の修正動議が可決され、当初予算が減額修正されました。

▽議会は住民代表機関であり、民主主義を充実させる重要な手段と言われています。しかし、議員間討議をしない、執行機関の提案を承認するだけの機関になってしまっているとの批判が様々な所で語られるようになり、今日の全国的な議会改革の動きを生み出し、真の住民代表機関として議会が作動し始めています。

▽我々議会議員は、選挙で選ばれた「特別職の公務員」であります。憲法第15条には、「すべての公務員は全体の奉仕者であって一部の奉仕者でない」と定められています。

▽このことは、議員が公平公正にその権限を行使し、利害や意見の対立する問題について、一部の人はなく全体の利益とは何かという判断をするということだと理解しています。

▽今回の議会の判断が、住民福祉の向上に寄与することを示しているのかと、問われる覚悟を持ちたいと思います。

議会広報特別委員会

委員長 益子 明美